

# 適正な予算執行に 努めています

財政課(88)9121

9月30日現在の一般会計予算の執行状況は、前年度からの繰り越しを含め、予算額367億7212万円に対し、収入済み額が168億5517万円、支出済み額が139億804万円、収入率が45.8%、支出率が37.8%となっており、左の表のとおりです。

●会計別予算の執行状況 (9月30日現在)

会計名	予算額	収入済み額		支出済み額				
		収入率	支出率	収入率	支出率			
一般会計	367億7,212万円	168億5,517万円	45.8%	139億804万円	37.8%			
特	市営墓地事業	4,094万円	1,398万円	34.1%	1,163万円	28.4%		
		特定地域戸別合併処理浄化槽整備事業	591万円	124万円	21.0%	230万円	38.9%	
別	財産区	3,024万円	2,632万円	87.0%	669万円	22.1%		
会	国民健康保険	75億1,482万円	31億2,172万円	41.5%	25億3,446万円	33.7%		
		計	介護保険	70億4,085万円	35億7,508万円	50.8%	29億662万円	41.3%
				後期高齢者医療	8億8,047万円	2億5,732万円	29.2%	2億7,293万円

※金額には、前年度からの繰り越しを含みます。

●会計別市債の状況 (9月30日現在)

会計名	金額
一般会計	403億2,573万円
特定地域戸別合併処理浄化槽整備事業	506万円

●市税の収入状況 (9月30日現在)

市税	予算額	収入済み額	収入率
市民税	37億1,000万円	18億3,347万円	49.4%
固定資産税	43億7,180万円	31億1,198万円	71.2%
都市計画税・たばこ税など	14億310万円	9億392万円	64.4%
合計	94億8,490万円	58億4,937万円	61.7%

●1人(1世帯)当たりの負担とサービス (9月30日現在)

区分	市税の負担	市民サービス
1人当たり	78,993円	187,822円
1世帯当たり	191,651円	455,688円

※人口74,049人、世帯数30,521世帯(9月30日現在の住民基本台帳による)

かがわを指し、これからの限りある財源を効果的・効率的に活用し、健全財政の堅持に努めていきます。



整備中の須賀川駅にも予算が支出されています

■「通いの場」を通じた地域とのつながり

# いつまでも生き生きと 地域で暮らしていくために

長寿福祉課(94)2162



地域の皆さんと一緒に健康づくりしませんか

「通いの場」とは?

人生100年と言われる時代に、楽しく生き生きと暮らしていくための地域づくりとして、地域の皆さんが主体となつて介護予防などを行う場所「通いの場」が全国的に広がり、注目されています。今月号では「通いの場」の取り組みや、参加者の声をご紹介します。

●各地域を担当する地域包括支援センター

居住地域	担当	電話番号
須賀川・浜田	須賀川中央地域包括支援センター	(88)8215
西袋・稲田・仁井田	須賀川西部地域包括支援センター	(75)3222
小塩江・大東	須賀川東部地域包括支援センター	(79)1551
長沼・岩瀬	須賀川長沼・岩瀬地域包括支援センター	(67)3113

市内の多くの通いの場では、地区の集会所など歩いて行ける身近な場所を活用し、介護予防のために市が独自に作成した「ウルトラ長寿体操」を行っています。また、定期的に皆さんが集まることにより、地域での見守りにも役立っています。

「ウルトラ長寿体操」とは?

有酸素運動、筋力アップ体操、認知症予防体操、口腔体操



体操のコツを知らながら簡単に取り組むことができます

操などで構成されている体操です。DVDを見ながら楽しく取り組むことができ、各自の体力に合わせて無理なく行えます。なお、tetteでは、毎週水曜日の午前10時から体操を開催していますので、お気軽にご参加ください。

活動を始めたときは?

「通いの場を自分の住んでいる地域で立ち上げたい」「ウルトラ長寿体操の体験会をしてみたい」と思う人は、お住まいの地区の地域包括支援センターにご相談ください。

参加者の方に  
聞きました!



南上町いきいきクラブ 阿部フミさん(左)  
会を立ち上げたきっかけは、誰もが気軽に集まれる場はないかと考えていたところに、市からウルトラ長寿体操の案内が届き、体験会を開いたことです。今では、DVDの操作や血圧測定など、みんなで役割分担をしながら活動しています。参加者同士のいろいろな会話を楽しみにしている人も多いです。

南上町いきいきクラブ 渡辺よをさん  
令和元年の立ち上げ時からほぼ休まずに参加しています。96歳になりますが、体操を続けているからか、歩くことに対する不安はあまりなく、3日に1度、近くの公園まで散歩しています。また、風邪を引くこともほとんどありません。皆さんと顔を合わせ、お話をする時間が待ち遠しいです。

12月10日から令和6年1月7日まで  
年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動

運動のスローガン

「なにで来た?」 乾杯前の 合い言葉

運動の重点

- ▶道路横断中の交通事故防止(特に、高齢歩行者の保護の推進)
- ▶夕暮れ時や夜間の交通事故防止
- ▶飲酒運転の根絶
- ▶自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守
- ▶全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底



ビームフォー  
PM4ライトオン運動

この時期は日没時間が早まるため、運転者は午後4時を目安にライトを点灯し、歩行者は明るい色の服や夜光反射材を身に着けるなど、交通事故の未然防止に努めましょう。

☎市民安全課(88)9128

すかがわ  
俳句  
シリーズ  
No.2

俳句に関する情報をシリーズでお知らせします。  
☎文化振興課(88)9172

相楽等躬

等躬は、江戸時代の須賀川に生まれ、問屋業を営みながら、20代で俳句を始め、須賀川俳壇の中心的な役割を果たした俳人です。



風流のはじめ館にある相楽等躬像

松尾芭蕉とは古くから交友があり「おくのほそ道」の旅の途中、芭蕉は等躬を訪ねるため、須賀川に立ち寄りしました。

先人たちは須賀川の俳句・等躬の命日である陰暦11月19日を「等躬忌」と称し、等躬に思いを馳せました。風流のはじめ館では、毎年11月に等躬を偲ぶ「等躬忌のつどい」を開催しています。